

※県政記者クラブ加入各社のうち、静岡市内の支局に FAX 送信しています。 [送信 1 枚]

提供日 2017/1/23
タイトル 静岡県立大学 市川准教授との共同開発
食べて森を救う 『イズシカめんち』
ごはん屋さくらにて 2月1日販売開始
担当 静岡県立大学法人 静岡県立大学
地域・産学連携推進室



静岡県立大学記者提供資料

静岡県立大学 市川准教授 との共同開発 食べて森を救う 『イズシカめんち』 ごはん屋さくらにて 2月1日販売開始

静岡県立大学 食品栄養科学部 市川准教授 フードマネジメント研究室は、ニホンジカによる食害問題の解決に向けて、その肉を食資源として利活用するための研究を進めてきました。野生鳥獣による農林作物への食害は全国で問題になっていますが、静岡県伊豆地域では適正生息数の 10 倍以上のシカの生息が報告されており、被害は特産のワサビや椎茸にも及んでいます。管理捕獲したシカを廃棄せずに地域資源として活用することは、捕獲活動の継続化の上でも重要です。シカ肉は高たんぱく・低脂肪で鉄分豊富です。当研究室とごはん屋さくら（店主 伊藤忠雅 静岡市清水区由比今宿 1027-8054-376-0101）は、「イズシカ」肉を 100%使い、守るべきワサビ、椎茸も入れて、伊豆の味覚をギュッと詰め、ほんのり野生味も感じるメンチカツを共同開発しました。シカ肉初心者の登龍門に、手軽に召し上がっていただき、食害問題の解決を願う人たちの想いも感じて、シカ肉を利用するきっかけにさせていただきたいと思います。食べて森を救う 『イズシカめんち』定食は、ごはん屋さくらにて 2月1日から販売開始します。
報道機関の皆様におかれましては、告知及び取材をお願いします。



本学フードマネジメント研究室 または ごはん屋さくらへの取材をいただける場合は、
下記にご連絡ください。写真等の提供も可能です。ご相談ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 事務局 地域・産学連携推進室

電話 054-264-5124

メールアドレス renkei（ここに@を入れてください）u-shizuoka-ken.ac.jp